

ロジカルレベルの短いヒストリー

ロジカルレベルの概念は、いくつかの「プロセスと現象」が、他の「プロセスと現象」との関係によって引き起こされるという事実について説明します。

どんな活動システムも、別のシステムの中に埋め込まれているサブシステムです。そしてそれはまた別のシステムへ埋め込まれ、そしてまた・・・と続きます

システム同士のこの種の関係性は、異なるレベルで作動しているあるシステムの中で関連しているシステムを生産します。

私たちの脳の構造、言語、そして社会システムは、プロセスの自然の階層またはレベルを作ります。

単純な例として、変化率または自動車の速度を考慮してください。

速度とは、例えば自動車がある時間にどれくらいの距離を走行したという値です。

従って速度は、距離と時間の関係です。

車庫から高速道路まで自動車の速度は、自動車、車庫、高速道路などとは異なるレベルにあるということが可能です。

なぜならばそれら自動車、車庫、高速道路同士の関係性の特徴だからです。(そして自動車、車庫、高速道路など無ければ速度も存在しません)

同様に、会社の「収益性」は、その会社によって使われる機械より異なるレベルにあります；そして、思考はその思考を生産する脳のニューロンとは異なるレベルにあります。

学習と変化のロジカルレベル

学習と変化のロジカルレベル（論理的階層構造）の概念は、最初に、論理学と数学におけるバートランドラッセルの仕事に基づいて、文化人類学者であるグレゴリーベイトソンによる行動科学のメカニズムとして明確に述べられました。

ベイトソンは、学習と変化の4つの基本レベルを特定しました。

各々のレベルは、各レベルよりも下位レベルの要素を含み組織化しています。

そして、個人、有機体またはシステムへのより大きな影響力を持っています。

ロジカルレベルという用語は、私が NLP において使った時、ベイトソンの業績を NLP に適応させました。そして、個人またはグループ内でプロセスのレベルの階層について説明します。

The function of each level is to synthesize, organize and direct the interactions on the level below it.

各々のレベルの機能は、各レベルより下位レベルを統合し、組織化し方向付けることです。上部レベル上で何かを変えることは、下位レベルに必然的に下位レベルでの変化を促進する「投射」をおこします。

下位レベルで何かを変えることは、上位レベルに対して投射が起こり得ますが必然的ではありません。

これらのレベルが、最上位から最下位まで順序通りに含みます

アイデンティティレベル、信念価値観レベル、能力レベル、行動レベル、環境レベルそして6番目のレベルを「スピリチュアル」と呼び、それは、複数のアイデンティティを含む一種の「関係のフィールド」、その人の個々のアイデンティティを越えたより大きなシステムのメンバーであることと感覚を作ることと定義可能です。

1976年にカリフォルニア大学サンタクルーズ校でグレゴリーベイトソンの *Ecology of Mind* クラス（精神の生態学の授業）に出席している間、私は初めて異なる論理階梯の概念と学習、変化とコミュニケーションのレベルを知ることができました。

これまでの研究による文化人類学者ベイトソンは、私がこれまでに知っていた誰よりも思索の最も大きな底と範囲を持ちました。

彼の講義は、コミュニケーション理論から広範囲にわたる話題をカバーします、グレゴリーベイトソン「バリ島の芸術」、電磁界のためのマクスウェルの方程式、精神分裂症、カプトムシの足の遺伝子の奇形など。

しかし、彼が語ることは、話題の多様性を示唆するかもしれませんが、決して支離滅裂な思考の「コレクション」または思考の「ごった煮」ではありませんでした。

サイバネティックスとシステム論のベイトソンバージョンは、より深い構造または「つながるパターン」、これらの話題の全ての生命と存在の一つの魅力的な織りを利用することができました、。

振り返ってみると、ベイトソンのクラスに出席することは、私の人生の最も動機付ける経験のうちの1つでした。

私は、彼のクラスに出席し、彼の低い声と特徴的なケンブリッジアクセントを聞くこと、そしてそれは知恵の声のように私に鳴り響きました。

私にとって、彼は、依然として一種の「スピリチュアルガイドでした。」